

J R 日南線（油津・志布志間）検討調査委託業務仕様書

1 業務の目的

J R 日南線（油津・志布志間）における、これまでの調査等の成果を最大限に活用し、ビッグデータ・オープンデータを用いた広域的な移動実態の可視化を通じて、沿線住民の移動ニーズを客観的かつ精緻に把握することで、J R 日南線（油津・志布志間）の将来のあり方に関する議論の深度化を図るための基礎資料を作成することを目的とする。

2 業務の内容

日南線（油津・志布志間）の将来を考える会議におけるこれまでの議論を踏まえた上で、以下の業務を行う。

（１）既存アンケート調査結果の高度な分析

- ・ 委託者が実施した沿線住民や J R 利用者等へのアンケート調査結果（委託者よりエクセルデータにて提供）を活用し、沿線住民の移動ニーズや潜在的な課題を整理し、回答者の移動実態や移動ニーズの精緻な分析を行う。

（２）ビッグデータ・オープンデータを活用した広域移動実態の調査

- ・ 国や自治体が公開している各種オープンデータ（人口動態、観光統計等）と携帯電話の位置情報や交通関連データ等のビッグデータを掛け合わせ、日南線沿線を中心とした広域的な移動実態や、周辺地域を含めた交通ネットワークの実態調査を実施する。

（３）沿線地域に適合する他地域での事例収集・分析

- ・ 全国の他地域における関連事例を 3 ～ 5 事例程度収集し、各事例における実施体制や施策の実施前後の利用者数の推移、地域生活や観光への影響などを整理した上で、日南線沿線への適用に向けた課題を抽出する。
- ・ なお、事例の収集・整理については、必要に応じて対象自治体や事業者へのヒアリング等を実施すること。

（４）打ち合わせの実施

- ・ 委託期間中、月 2 回程度、委託者と業務の進捗報告を含めた打ち合わせを実施する。実施方法は対面又はリモートとする。

(5) 報告書のとりまとめ

- ・ 上記(1)～(3)の検討結果を会議における議論や合意形成に資するよう、分かりやすい資料として取りまとめること。
- ・ 12月中旬を目途に中間報告を行うこと。

3 成果品

- (1) 中間報告書（電子データ） 1式
- (2) 業務報告書（電子データ） 1式
- (3) 概要版報告書（電子データ） 1式
- (4) (1)～(3)及び各調査・集計結果の編集可能な電子データ 1式

4 委託期間

契約締結の日から令和9年2月26日まで

5 その他

本業務の受託者は、業務を実施するに当たり、委託者と十分な調整を行うこと。

個人情報やビッグデータ等の情報の取扱いについては、関係法令及び委託者の定めるところにより適切に管理するとともに、データ提供元の利用規約を遵守すること。

この仕様書に定める事項について疑義が生じた場合、またはこの仕様書に定めのない事項については、必要に応じて、委託者と受託者が協議の上、定めるものとする。